

岡山県立和気閑谷高校

地域に根ざし世界に広がる活動

取組等の概要



探究学習発表会



こくさいフォーラム in Wake



韓国沃川高校との交流

1. 文部科学省「地域協働推進校」(地域魅力化型) 指定校!

各教科・科目、総合的な探究の時間、課外活動の3つの領域を通して、卒業までに身に付けさせたい資質・能力「7つのチカラ」(自分を理解する力、職業とつなぐ力、考える力、行動する力、コミュニケーション力、チームワーク力、自立する力)の向上を図り、「地域と協働する探究人」を育成します。その中で、横断的、総合的な課題解決の場として、総合的な探究の時間「閑谷學」を3年間で4単位設定し、地元2市1町の役場や教育委員会、商工会等、地域のサポートを受けて、地域課題解決型探究学習を展開しています。コーディネーターとして、支援職員、カリキュラム開発等専門家、和気町地域おこし協力隊員が探究学習の企画立案に当たり、地域とのつなぎ役を担っています。総合的な探究の時間の3年間のねらいと具体的な活動は次のとおりです。

○1年次：自己と学問のつながりを調査し考察する。

- ・探究の調査とインタビュー方法、発表手法を学ぶ。
- ・グループ活動を通じて、自他への想像力、学校や地域と自己のつながりを感じる。

○2年次：自己と社会(世界)とのつながりを体験・調査し考察する。

- ・テーマに対する探究学習の目的・計画を立案し、体験・探究する。
- ・探究学習を通じて社会の諸問題と自己及び自己の進路のつながりを感じる。

○3年次：自己とこれからの社会とのつながりを調査し提案する。

- ・各自の進路に応じて学問分野や業界の予想される未来像、実現したい未来像、自分がしたいことや提案をまとめる。

2. 国際理解学習

(1) 海外の姉妹校との交流

海外の高校5校(中国2、韓国2、台湾1)と姉妹校協定を結び、交流しています。今年度、韓国沃川高校、昌原龍湖高校が本校を訪れ、歓迎セレモニーをはじめ、授業、昼食会、ホームステイなど交流を深めました。来年1月20日(月)には、台湾の屏東女子高校が来校する予定です。

(2) こくさいフォーラム in Wake

県内在住の留学生を招き、ワークショップを通して海外の文化を学びながら、自分が生きる地域と世界について英語を活用して体験し、グローバルにもローカルにも共通する知見を学んでいます。